

日本映画大学学生満足度調査結果【2022年度】

日本映画大学では、毎年3月に卒業する4年次生を対象に、4年間の学生生活を振り返った調査を実施しています。ここでは、過去2年度分の結果を掲載することで、経年での変化を確認することができるようにしています。

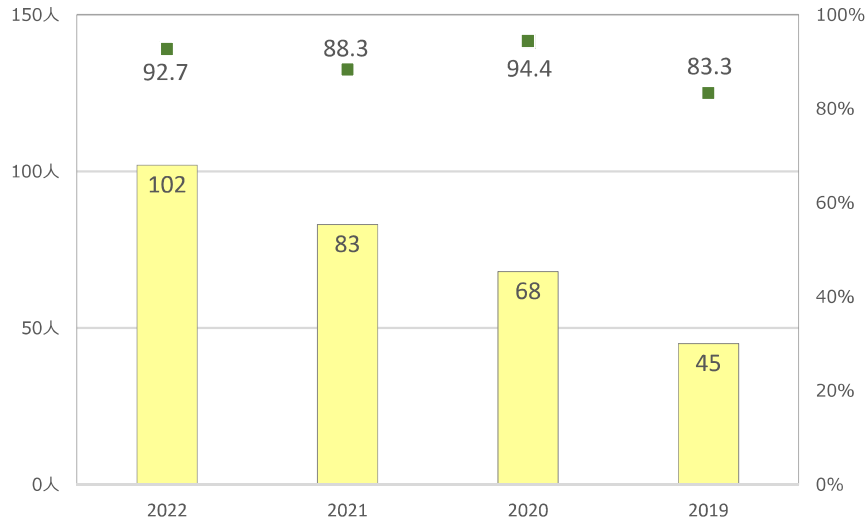
【調査概要】	調査実施日	2023年3月17日（卒業式・学位記授与式当日）
	対象者	4年次卒業生
	対象者数	110名
	回答者数	102名（回答率92.7%）
	回答方法	調査票による回答

- 本調査は、毎年卒業式当日に実施しています。出席者のほぼ全員が回答しているため、高い回答率となっています。
- 「入学時に将来の仕事へのイメージ」を明確に持っていた学生とそうでない学生はほぼ半数です。映画の大学に入学するのですから、例えば監督になりたいといった具体的なイメージを持って入学する学生が多い印象がありますが、実際はそうでもないようです。本学は、1年次は共通カリキュラムで映画制作のさまざまなパートを学び、2年次から系・コースに分かれます。1年次の間にじっくり将来の方向性を見極めると考えている学生が多いのかもしれませんが。
- 「大学でやりたい勉強ができること」は毎年100%近い学生が「重要」と回答していますが、満足度は年々減少しており、2022年度は84%と前年度より5ポイント下がっています。また、「入りたいコースがある」「希望のコースに入れる」「コースで充実した時間が過ごせる」「コースの内容が役に立つ」といったコースにかかわる設問で「重要」と回答している学生は9割にのぼりますが、満足度は8割程度にとどまっています。多くの学生にとって期待の大きいコースでの学修は「重要」だと思っている一方で、そこまでの満足度が得られていないと感じている学生が多いともいえます。しかしながら、「総合満足度」は8割を超えており、各項目の満足度もおおむね8割を超えていることから、それなりの満足感や達成感をもって卒業しているともいえるでしょう。
- 「学内の施設」への満足度は年々下がっており、2022年度は6割にまで低下しています。2022年度に新百合ヶ丘校舎・白山校舎内に高速wifiを敷設し学生の利便性の向上につとめました。さらなる施設環境の充実を期待しているようです。2023年度は新百合ヶ丘校舎の空調設備の更新を行うほか、授業で使用する機材の入れ替えも順次進めていきます。
- 「悩み事の解決」では、カウンセラーに相談する割合は低いまま推移しています。悩みを抱えていてもなかなか学生相談室に足を運ばない学生にどのように活用してもらえるかは課題となっています。他方、「教職員に相談」する割合は年々増えており、学生にとって教職員が身近な存在として認知されていることがうかがえます。悩みを抱えている学生からの窓口を複数用意することは、休学や退学を予防するうえでも有効であることから、カウンセラーと連携しながら充実した学生生活を送れるよう支援をつづけていきます。
- 「人生に役立つスキルを身につける」ことができたかどうかの達成度は9割近くにのぼっています。「重要だったこと」の自由記述欄にもいくつか記載が見受けられますが、コースにおける映画制作の専門的な学びだけでなく、コミュニケーション能力や人との接し方、チームワークや交渉力など、映画制作の過程をとおして社会人基礎力（ジェネリック・スキル）が身についたと実感している学生が多いといえるでしょう。
- 「総合満足度」では、8割を超える学生が「たいへん満足」「満足」と回答しています。2021年度よりポイントは回復していますが、「満足していない」学生も1割程度存在していることは注視していく点です。

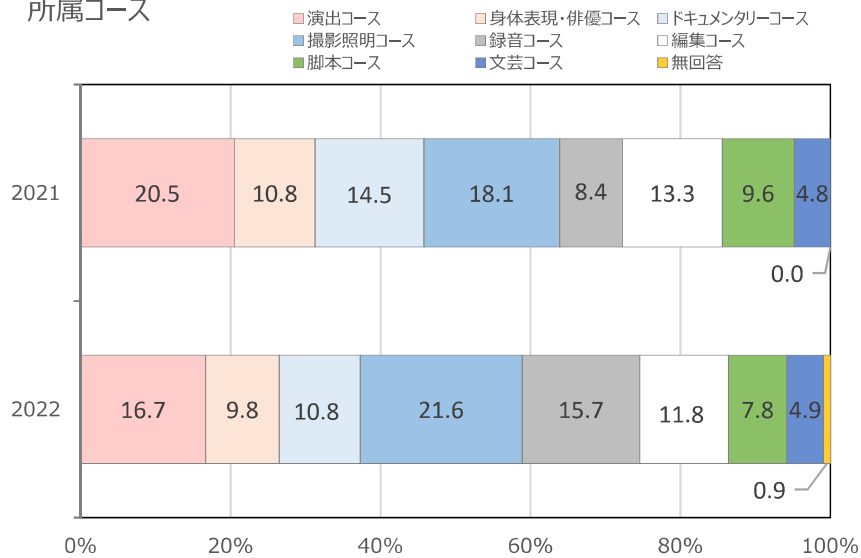


基本情報

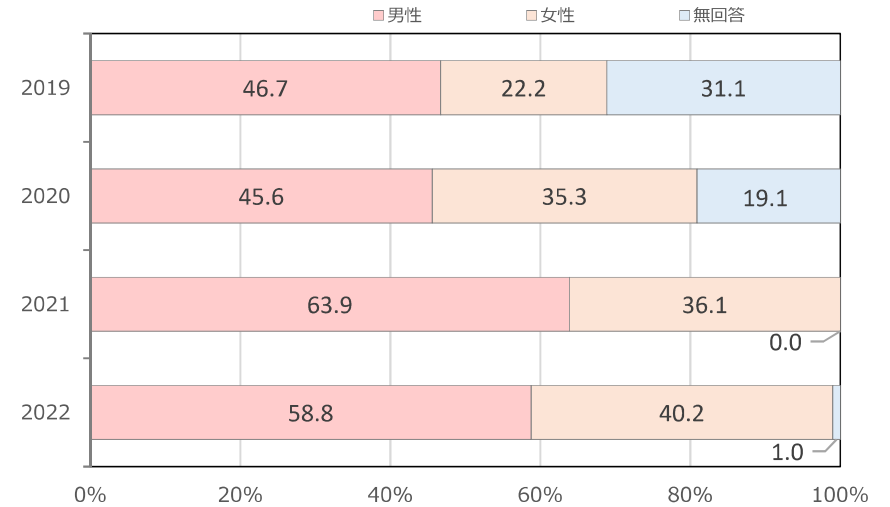
回答者数



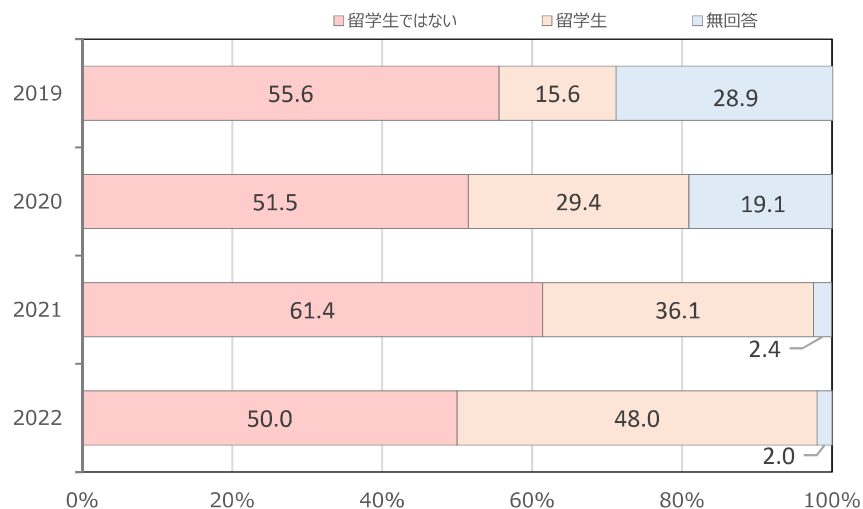
所属コース



性別

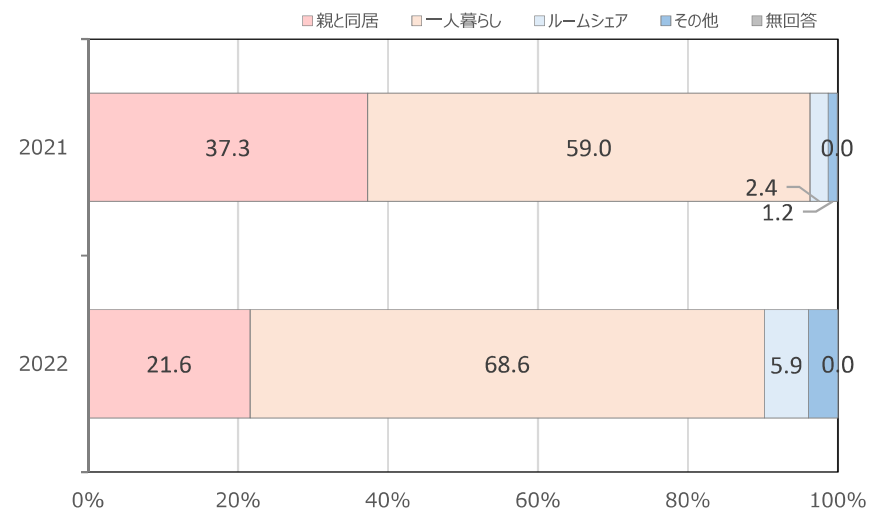


留学生ではない/留学生

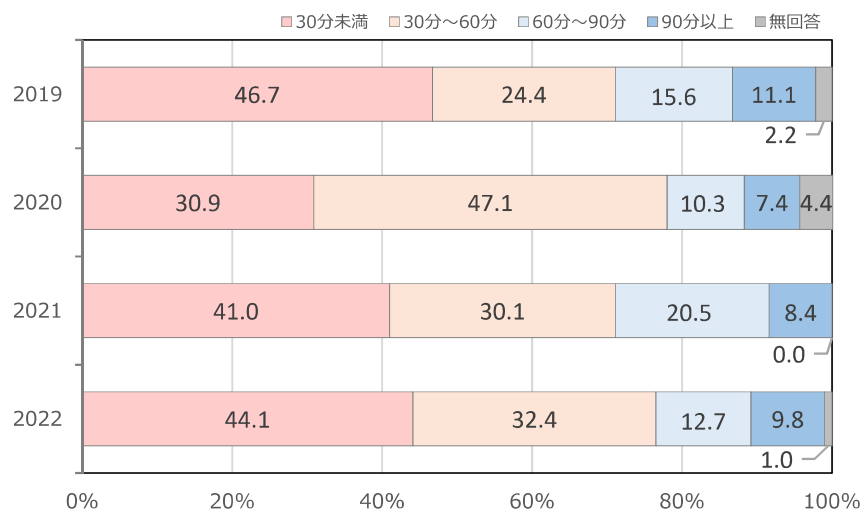


4年間の平均的な住居

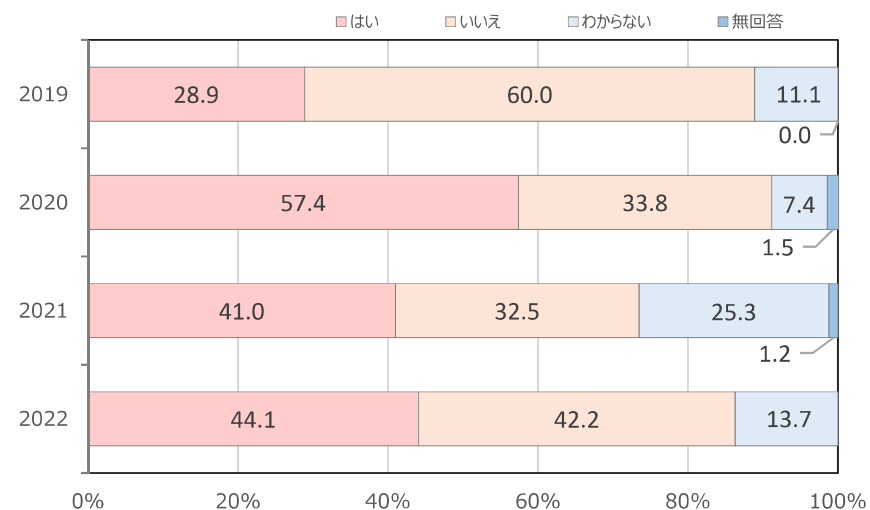
※2021年度からの調査項目



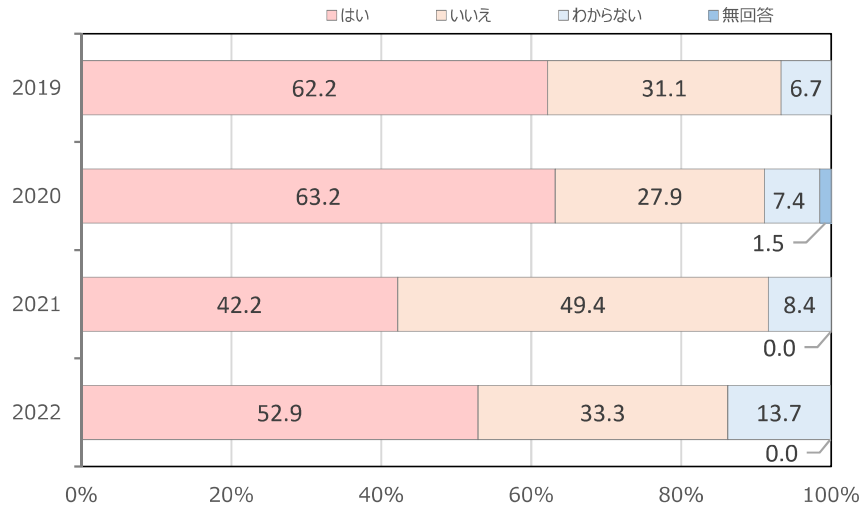
4年間の平均的な通学時間



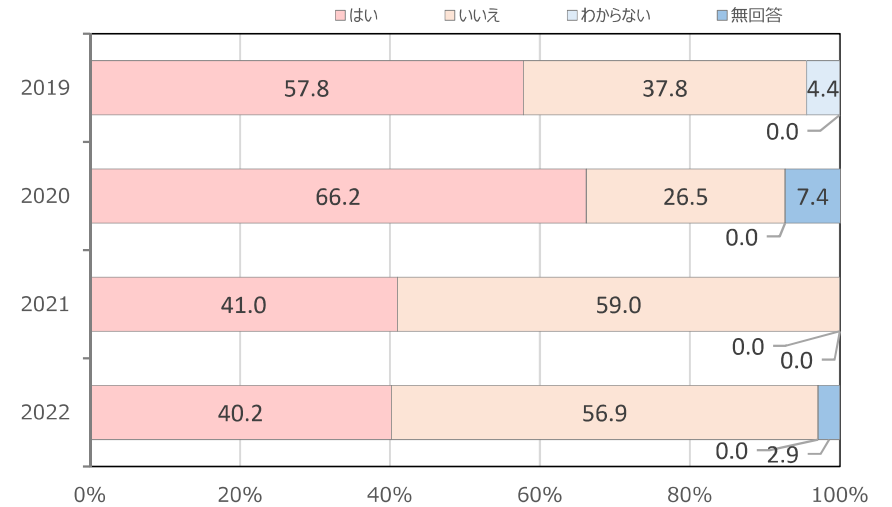
入学時に将来の仕事についてのイメージが明確だった



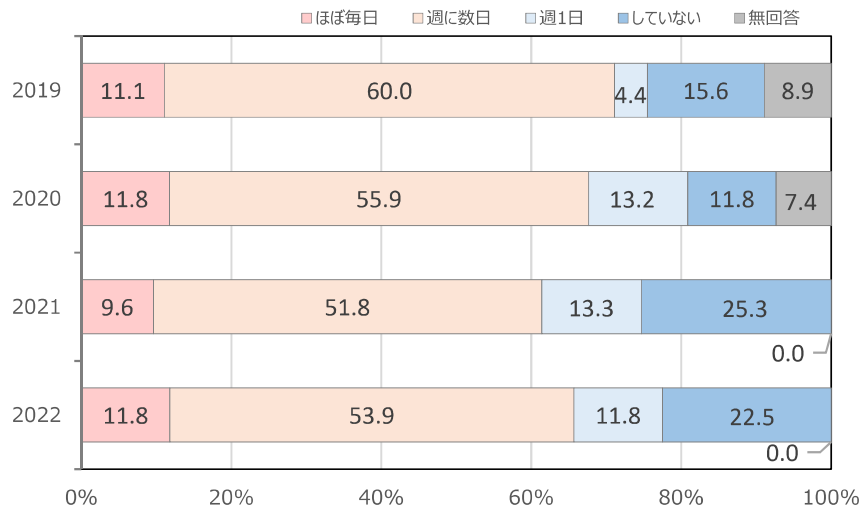
本学が第一志望だった



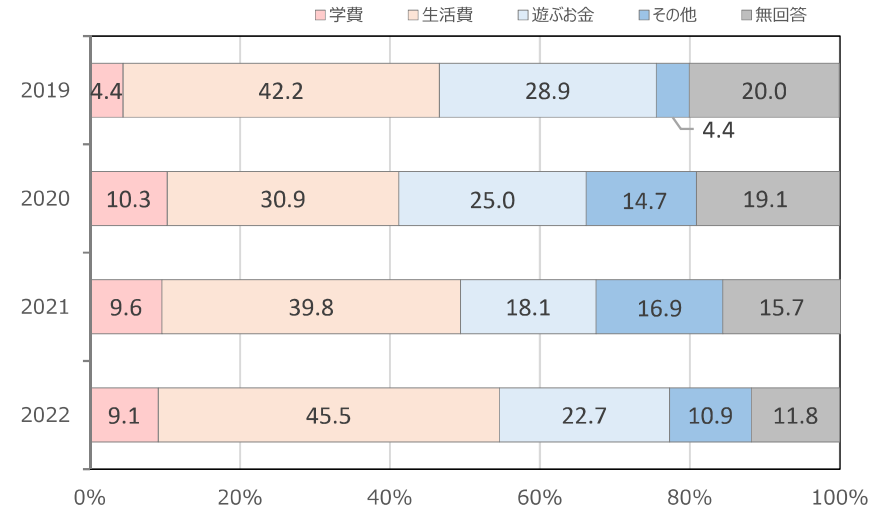
オープンキャンパスなどの行事に積極的に参加した



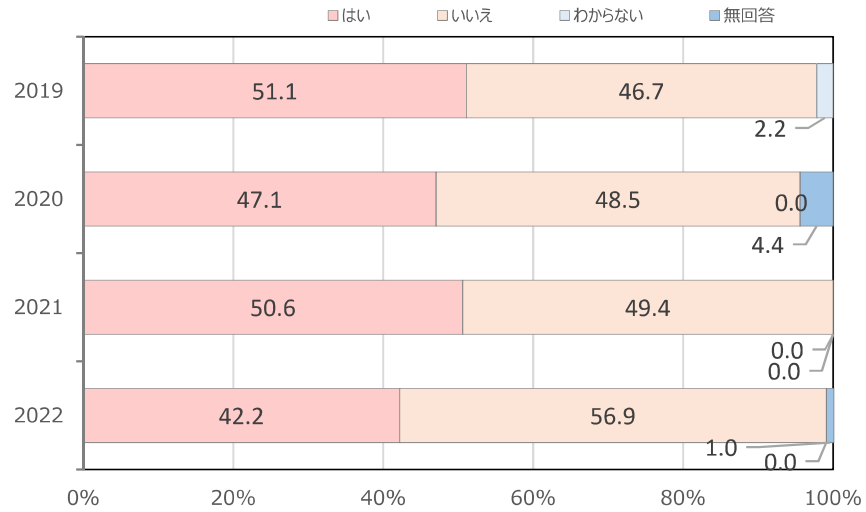
4年間の平均的なアルバイトの頻度



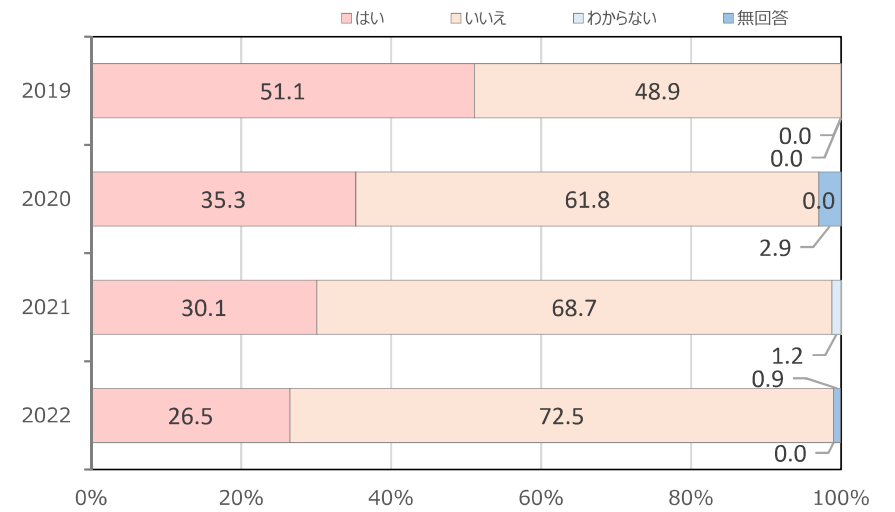
アルバイトの目的



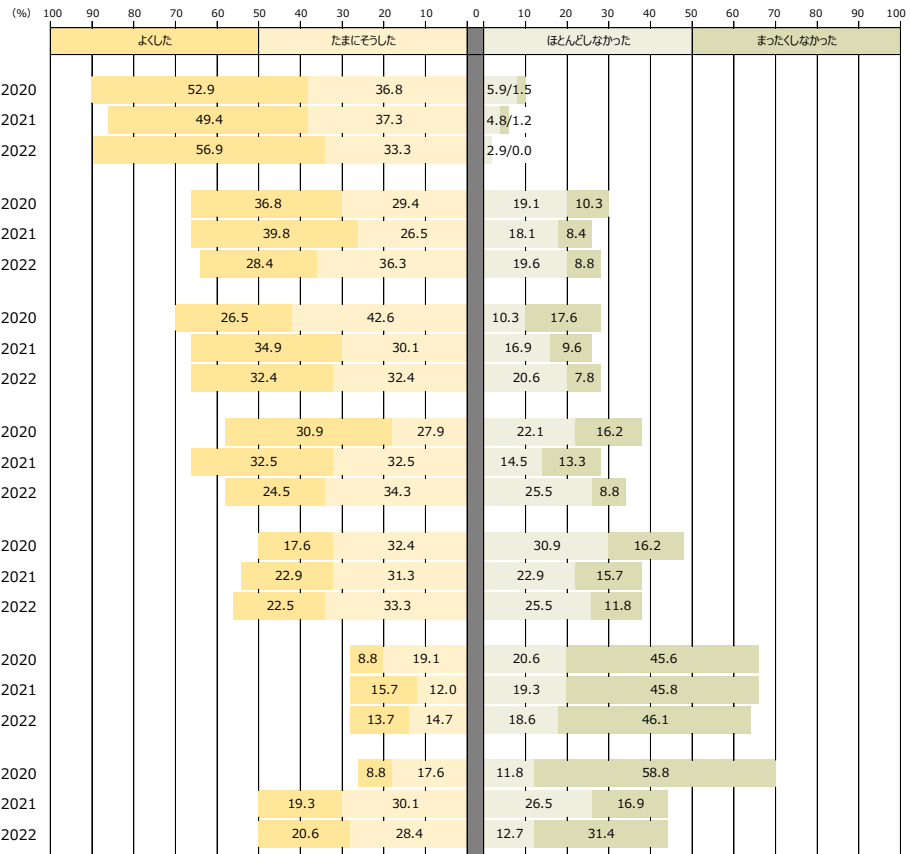
生活費や学費で経済的不安がありましたか



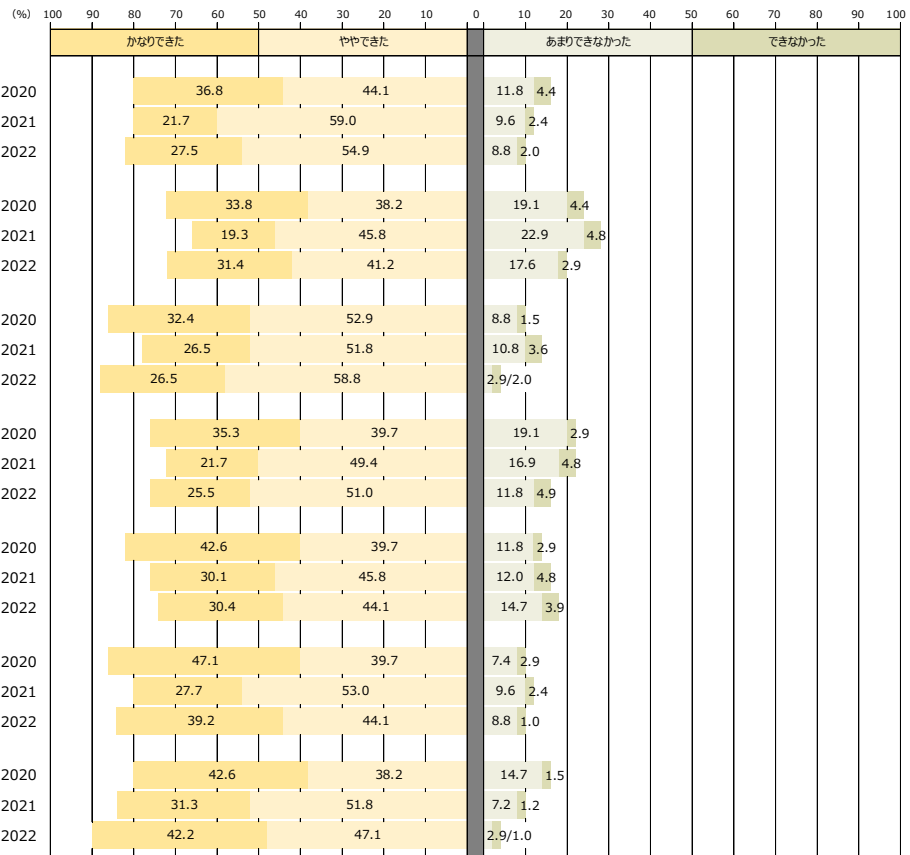
奨学金は受給していましたか



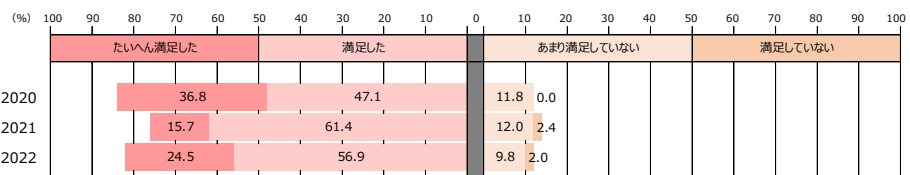
悩み事の解決



達成度

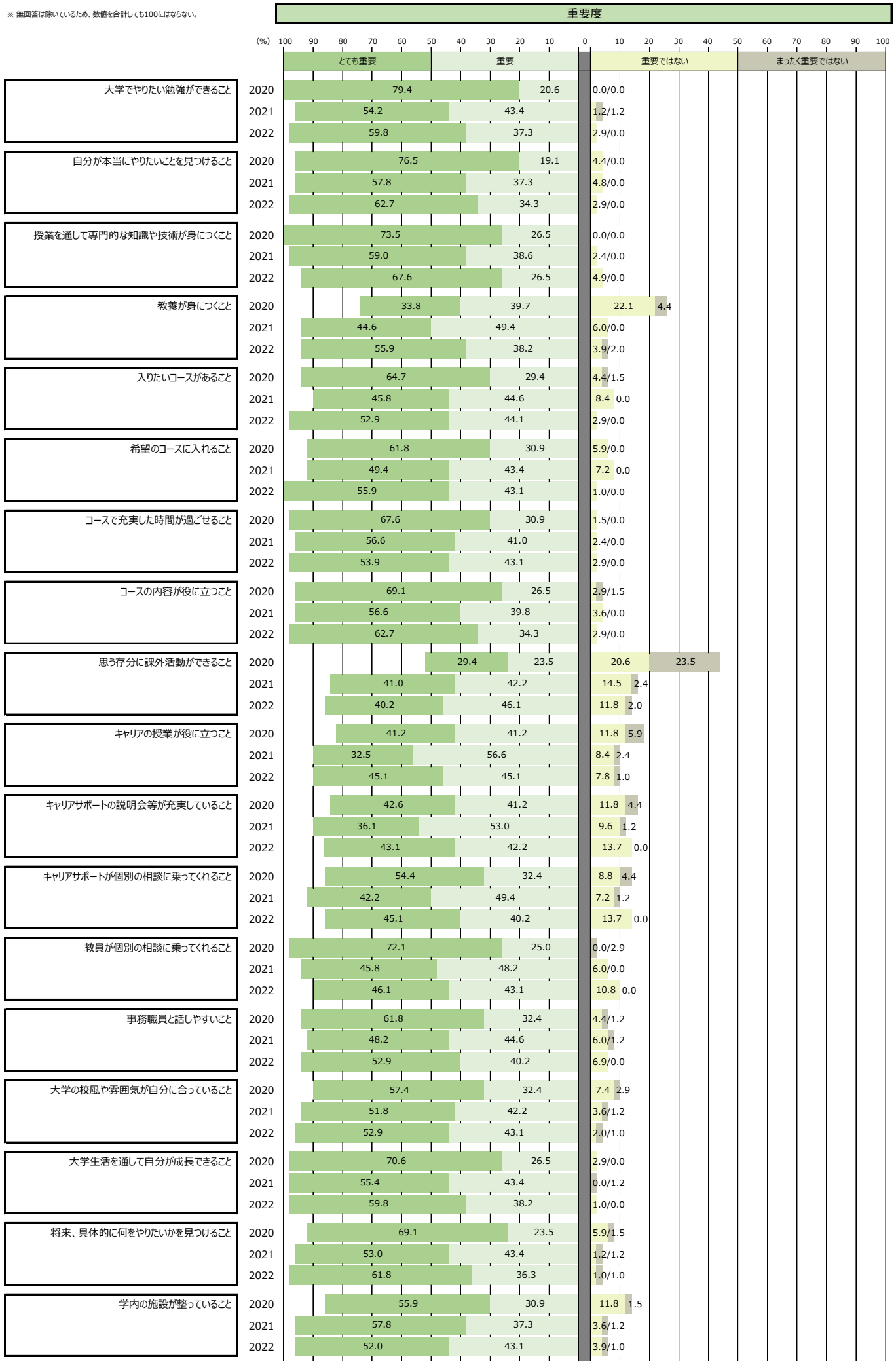


総合満足度

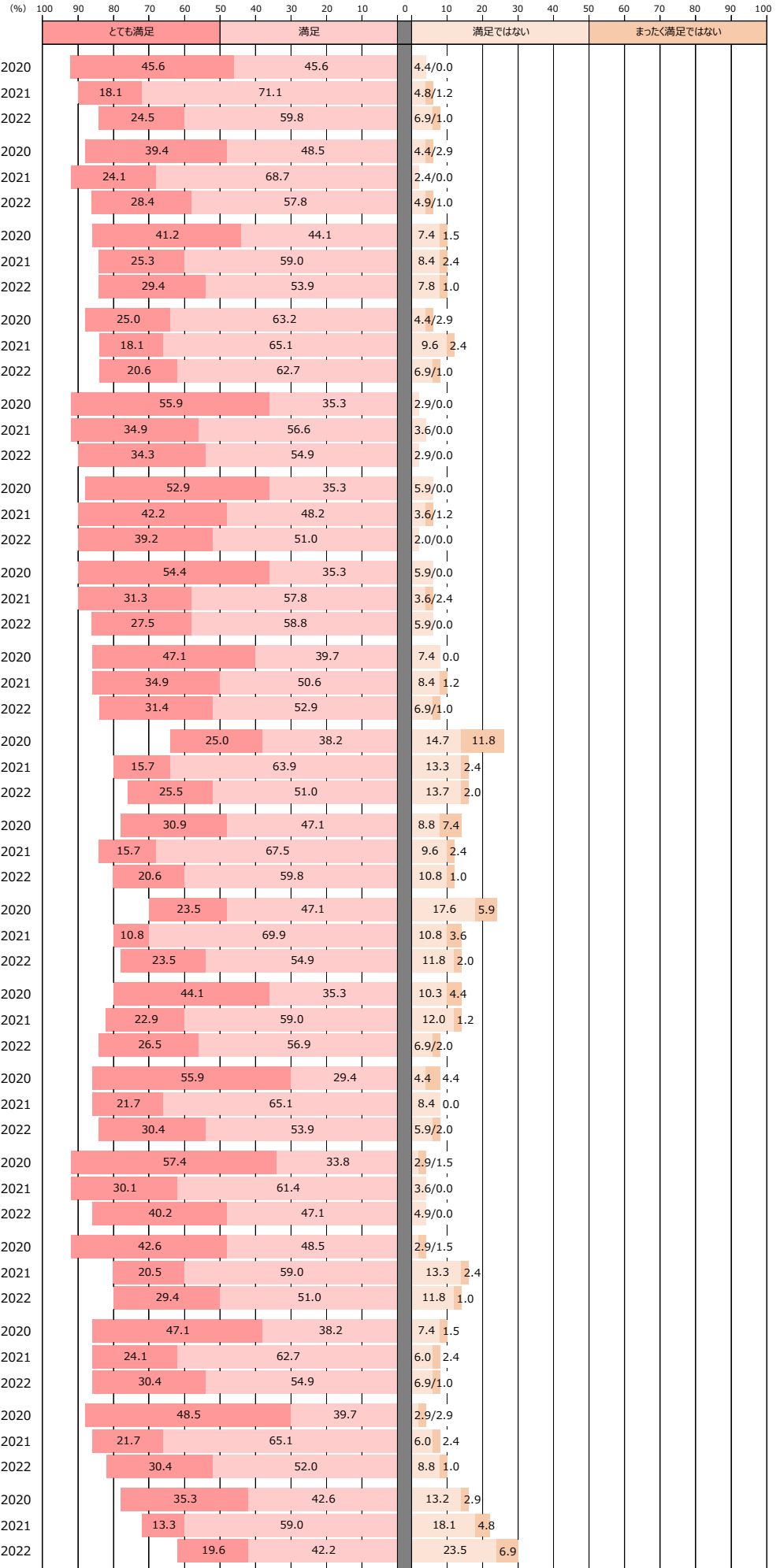


学生満足度調査集計結果【2022年度】

※ 無回答は除いているため、数値を合計しても100にはならない。



満足度



大学生活で重要だったこと（自由記述）

- 私が4年間で一番重要だったことは人との出会いです。様々な人と出会えたことで仲が深まり、作品作りや目標の達成を成し遂げることができ、大学生活で改めて人と人のつながりが大切だということを学んだ。（演出）
- 一生懸命勉強することだと思います。自分の未来への道を探すことも重要だと思います。（演出）
- 1年生の時が一番楽しい時間でした。重要なのは人間関係だと思います。うまくできずに過ごした4年生はとても残念でしたが、私にとって成長したとも言え、これからこの経験をふまえて頑張っていきたい。（演出）
- 人としての部分と映画とはなにかという部分、突き詰めた先の共通点というか、境界そのものに近づくヒントをもらえた気がします。境界線はないのかもということも含めて。（演出）
- まず自分をよく認識し、表現したいことを探すことは大事です。その上で、自分が適切な表現手法をもって表現する。この間の指導も重要だと思う。学生を肯定し道を案内することは重要。（演出）
- 重要だったことは、周囲に流されずに注意を払いながら人とのつながりを大切にすること。（演出）
- この4年間は、はっきり自分がどんな人間でどんな人生を送りたいかを知ることができました。とても満足した大学時代、ありがとうございました！（演出）
- 話し合うこと。何事にも話し合いは大切だと思うが、実習を通してそれをより強く感じた。（演出）
- 消極的になるのではなく興味のあることに関わっていくこと。（演出）
- 自分の意見が話せるコミュニティであるかどうか重要でした。演出にしる、将来への考えなど話せる仲間がいるか。卒制を撮ること。（演出）
- 自分らしく生きること。（身体表現・俳優）
- 楽しむ！！（身体表現・俳優）
- 自分のやりたいことを見つけることでしょうか。もしくは就職先を見つけることだったと思います。身体に進んでお芝居という好きだと思えるものに挑戦できてとても良かったです。また1、2年次では、演出のことや撮影のことなど映画製作全般を学べて良かったと思います。（身体表現・俳優）
- 自分の軸を見つけること。様々な製作活動に触れ、人と関わることで見つけることができた。（身体表現・俳優）
- 色々な実習で楽しむことを見つけることは大事なことだと思う。特に3年以降はずっと専門的なことを勉強するので、嫌なコースに入ったらきついと思います。（身体表現・俳優）
- 目の前の物事を楽しむこと。日々の生活を大事にすること。（ドキュメンタリー）
- 映像を作るスキルを身に付けること。友達ができたこと。（ドキュメンタリー）
- 人間関係を作ること。（撮影照明）
- 映画の基礎を学んで、業界に出た時に困らないようにすること。（撮影照明）
- 人間関係です。同級生だけでなく、職員たちや教師たちとの関係も大事です。4年間よい関係で、将来もよい関係が続けられる友人ができたことは何よりも幸せです。（撮影照明）
- 社交性。（撮影照明）
- 自分が何をしたいのかを明確にすること。まだはっきりはしないが、とりあえずやってみるという気持ちができることは良かったと思う。（撮影照明）
- チームワーク、先生とのコミュニケーション、現場での経験。（撮影照明）
- みんなと仲良くすること。4年間いろいろな人と出会ったり、ケンカをしたりしましたが、実現できたのではないかと思います。（録音）
- 将来やりたいことを見つけること。実習が多く、見つけやすかった。美術についてもっと学べる授業やコースがあると嬉しい。（録音）
- 独立して考えること。（録音）
- 音の勉強ができたこと。（録音）
- 技術がしっかり身につくカリキュラムで多くの実習を通して知ることができた。（録音）
- 人と交流する能力が強くなりました。（録音）
- 私にとって一番やりたいことは何か、いろいろ体験することが大切だと思う。少なくとも中国での18年はほぼ勉強しかしていなかったため、将来を考える意識はなかった。大学で選んだ方向が自分に合うとは限らないから、この4年間で様々なことをやってみて自分の中で一番欲しい道を選ぶべきだと思う。（録音）
- 経験です。何事も。良い事も悪い事も経験する事。（録音）
- 人間関係、コミュニケーションをちゃんとできることが重要。（録音）
- やっぱりコミュニケーション能力だと思う。（録音）
- 留学生活で勉強したこと。（録音）
- 充実した実習生活。（録音）
- 仲良くすること。チームワーク。（録音）
- 社会人として映画人として、基本的な挨拶などのふるまいを学ぶことがとても重要でした。（録音）
- 自分が考えたことを周りに共有してチームで作品を作り上げること。（録音）
- 今までしたことのない経験をどれだけできるか。（録音）
- 映画を作る上でのコミュニケーション能力をこの大学で学べた。この技術に関してはどこに行ってもいきると思う。（編集）
- 将来何をやりたいかを見つけること。（編集）
- 将来の目標を探ることが重要だと思うが、なかなか決められない。（編集）
- 様々な人に出会うことはいずれ役に立つと思います。そのためにいつも積極的に声をかけて、実習でもみんなと協力して作品に力を入れて頑張ってきました。（編集）
- 短い4年間という大学生活で、社会に出て必要な教養や技術がとても重要だと思います。また学生の時、正しい価値観を持つことも大事だと思います。（編集）
- 様々なことに触れ、考えるようにすること。（文芸）
- 映画のつくりを何から何まで学ぶ事ができた。（脚本）
- やはり勉強したことを勉強すること。コース分け。（脚本）
- 楽しく大学生活を過ごせること。（脚本）
- 日本語が上手になりました。色々な経験をもらいました。自分の能力ももらいました。（脚本）
- 映画について様々なことを学ぶことができました。

実現・満足できたこと、できなかったこと（自由記述）

- 満足できたことは様々な観点から映画を見られるようになったことです。できなかったことは演出以外をもう少し学びたかったです。（演出）
- いろいろな知識を知った。満足です。（演出）
- 満足ではないです。（演出）
- 悔いはないです。（演出）
- 色々な現場を体験できて満足でした。（演出）
- 流されることなく他人と積極的にコミュニケーションを続けられた。その中で最初の行動と目標設定は遅くなりがちだった。（演出）
- 実現できたことは、映画、シナリオ、文学、撮影、園芸、ピアノなど。（演出）
- 映画やドラマに関わる仕事につけた。コロナでもほとんど対面で実習ができたことはすごくよかった。（演出）
- 様々な関わりを持ち、自分の糧としていくこと。（演出）
- 卒制は悔しいところはたくさんあったがやりきれた。もっと学外の時間で他にいろいろな挑戦できたのでは？と思う。私の時間の使い方が下手だった。（演出）
- 身体表現コースに入って演じる楽しさを感じられた。（身体表現・俳優）
- 就職活動。（身体表現・俳優）
- いつかやってみたいと思っていたお芝居を勉強できたこと、舞台上立てたことです。キホンのキから勉強できたことは幸せなことでした。自分のコミュニケーション力や積極性を磨いて、もっと人脈（人とのつながりや関わり）を広げられたら良かったなとも思います。（身体表現・俳優）
- できなかったことは、将来的に表現者になる計画。（身体表現・俳優）
- 色々な実習現場を体験できてとても満足しました。（身体表現・俳優）
- 自分が褒められる作品を作れなかった。（ドキュメンタリー）
- 映画を本気で好きになりました。あまり行きたいところに行けなかった。（撮影照明）
- 自分の好きな分野にこだわりを持って学べたこと。（撮影照明）
- 友人ができた。将来仕事で使うスキルが身についた。（撮影照明）
- 卒制は結果的には良かったと思っているが、まだまだ良いものができた気もしている。（撮影照明）
- できたことはカメラに関する知識、クラスメイトとのコミュニケーション。できなかったことはもっと現場を見学すること。メインカメラマンになること。（撮影照明）
- みんなと出会えてよかった。（録音）
- 様々な実習を通していろいろなパートを知ることができたこと。映画美術演習IIではあまり美術に触れられなかった。（録音）
- 満足だったことは、様々な人に出会い、いっぱい友達ができたこと。（録音）
- 講師が充実していた。（録音）
- やりたいことが多くできて、色々なことを知ることができた。（録音）
- 満足できたことは、たくさん友達ができたこと。（録音）
- 人として成長したこと。（録音）
- 他の大学に比べて圧倒的に経験値をつめたと思います。22年間生きてきて一番意味のある4年間でした。（録音）
- 無事卒業できました。（録音）
- 自分の努力をかけて映像作品ができた。（録音）
- 実習が多かったこと。他の大学で体験できない大学生活。（録音）
- プロの現場を見学できたこと。（録音）
- 作品ができたこと。友達ができたこと。（録音）
- 現場での動き方や技術的なことを学ぶことができ非常に満足しています。できなかったことは、コロナで校外活動がうまくできなかったことです。（録音）
- 自分が納得いくまでやり抜くことができた。（録音）
- 自分の将来について考えること。学外の活動にも積極的に参加することができた。（録音）
- 少しキャパオーバーなことに何度も挑戦した。（編集）
- 何をやりたいか見つけられた。（編集）
- 人と関わることができた。（編集）
- 好きなことを探したが、将来の目標として頑張っていくかどうかまだ迷っている。（編集）
- いろいろな面で確実に成長できたと思います。（編集）
- 編集に対する技術力がややつきました。（編集）
- 仲間と映画が作れたこと。（脚本）
- 私はラッキーで進みたいコースに入ったが、周りの人はあまりうまく入れなかった。（脚本）
- 友人が増えたこと。もっと先生とコミュニケーションを取ればよかった。（脚本）
- 万難を超えてやっと卒業できたこと。（脚本）
- 購買部！（文芸）
- 満足したことは良いコースに入ったこと。できなかったこと・不満は学校の設備。（文芸）
- 自分で映画を監督したことが一番勉強になったことです。（無回答）